〔畜産農家の声〕

フォーベルネット会員 矢谷 美幸さん

(美作県民局真庭支局 畜産班)

月日の経つのは早いもので、矢谷家に嫁いで23年も過ぎてしまいました。「美幸さん、いつまでも若つきでいいわねえ」なんて言うお世辞を鵜呑みにし、けっこう若作りしたりしてますが、気持ちだけは老け込みたくなくて若いつもりでいます。

一男一女と二人の子供に恵まれ、家事育児に追われながらも毎日元気に牛舎や田畑で働いてきました。思い返すといろいろ大変な事もありました。父が農作業事故で右足切断という大怪我をしたり、牛が放れて近所の畑を走り回ったり、主人が泊まりがけで留守をする時には、日頃の行いが悪いのか、怠け者の私にバチが当たるのか知りませんが、夜中に牛が出産してしまい一人で忙しい思いをしたりなど、きりがありません。でもうちの家族はみんな穏やかで、慌てず騒がず「まぁなんとかなる。」と落ち着いたものです。

でも今、かつて経験したことの無いような飼料の高騰が続き、その上頼みの綱の F1 の値が下がり、これはもう大打撃です。先の見えない状況でこれから安定した経営が成り立っていくのだろうかと不安になってしまいます。

こういう状況で酪農家としてどうしたらいいでしょうか?今までよりさらに牛の管理に注意し乳質改善に務め、良質の飼料生産に励む事が大切なんだろうな…ということは分かっていても不安は拭いきれません。

とってもとっても草の根的な事だと思いますが、牛乳の消費拡大につながることで、 私にもできる事がある!と分かったことがあります。私は地域の活動にはできるだけ 参加するようにしています。この二年間栄

養委員を経験させていただきました。真庭 市久世地区のおよそ百名の栄養委員さんで 二部に分かれ調理実習をしたり、メタボリ ック対策の体操を教えていただいたり、万 歩計を付けて一ヶ月間計測したりなど大変 勉強になりました。職業も年齢も様々な委 員さんですが、交流を深め親しくなってい き、私は酪農をしていて毎日牛の乳搾りを していることを話しました。野菜や果物は 近頃、生産者の写真やメッセージのシール が貼ってあるものがありますが、牛乳はそ れができません。だから牛乳を買う時は私 の顔を思い出してネ!なんて言うと「了解 ☆美幸さんの味がするわけね」と笑いがお こります。それから調理実習をすると、地 域の方々にレシピを配るという役目があり ますが、牛乳や乳製品を使った料理のレシ ピを配る時は、料理にはスキムミルクを使 うと便利な事とか、夜、一杯のホットミル クは睡眠をスムーズにしてくれるとか言葉 を添えて配りました。牛乳の消費拡大が健 康管理へとつながっていると思います。女 性は特に、閉経を迎える前後に多く必要で、 不足すると骨の中に蓄えられたカルシウム が出てしまうので、骨粗鬆症になったり、 腰痛や関節痛に悩まされてしまいます。ち ょうど私もその年代なので仲のいい友人に も話したりして、一人でも多くの方にもっ ともっと牛乳の良さを理解してもらえれば と思い、こつこつと消費拡大運動を展開し ています。

長男は今年、専門学校を卒業し就職しま した。高校時代、進路を決める時酪農は選 択肢になかったようです。期待もしてなか ったし自分で決めればいいと言ってきまし た。なんとか夢が叶い子供の頃から憧れて いた職業に就くことができたようです。長 女は大学生で大学院進学を希望しているよ うです。まだまだ教育費が必要なので、働 きがいがあるというものです。不安材料は 多くあっても乗り越えていくしかないよう です。まずは自分達の健康第一。ストレス を溜めないように楽しく過ごせたらいいと 思います。

